

トイレまで移動できない人のための福祉用具

尿器

尿意を感じた際に、ベッド上で使用することができます。オムツを使用する人も多いですが、可能であれば使用することで、衛生面も保たれます。尿器にも様々なタイプがあり、使用感が違うためお体の状態に合わせて選ぶ必要があります。



ポータブルトイレ

ベッド周辺に設置できる簡易トイレです。トイレ型であるため、精神的にも使用しやすく、乗り移りの動作などが必要なため、筋力維持などにも繋がります。暖房便座や脱臭の機能が付いているものや、見た目が家具調なものもあります。



静岡県作業療法士会でも一般の方向けに生活のお役立ち情報を発信しております。ぜひご覧ください。

● URL : <https://x.gd/NrHHF>



静岡県作業療法士会の活動報告

沼津ふくし祭り



メディメッセージ



ずっと、元気！もっと、あなたらしく！

発行所 公益社団法人 静岡県作業療法士会
 発行人 岡庭 隆門／編集人 大石 裕也 伊海 友雪／印刷 (有)ティーケーピー
 事務局 〒420-0033 静岡県静岡市葵区昭和町9-5 第2大石ビル8階
 電話：054-266-6561 FAX：054-266-6569

今から考える、使いやすいトイレの環境！



今回は**使いやすいトイレ**の環境についてまとめます。悩んでいるトイレ環境を解決したいと思います！



しずおか
 作業療法だより 第9号 SHIZUOKA

日本のトイレでもっとも特徴的なのは、『和式トイレ』です。しかし、和式トイレは足腰が不自由な方にとっては、使いにくいとされており、最近では家庭でも『洋式トイレ』が一般的です。以下に和式トイレの特徴と使いにくいとされる理由を挙げます。

しゃがみ動作

▶しゃがみ動作は足腰の筋力・柔軟性を必要とし、高齢者になる程、動作が難しくなります。

段差がある

▶約 30 cmの段差があることがあり、上がるのも一苦労です。



排泄時の姿勢をキープ

▶排泄時にしゃがみやまたぎなどに合わせた姿勢を保持する必要があります。

便座をまたぐ

▶便座を使用する際のまたぎ動作は、立位バランスが不安定な方は転倒のリスクがあります。

和式トイレのメリット

- ▶しゃがみ動作をしながらの排泄動作は、腹圧をかけやすく、洋式トイレに比べてスムーズに排便がしやすい。
- ▶構造がシンプルで安価に設置できることや掃除がしやすい。

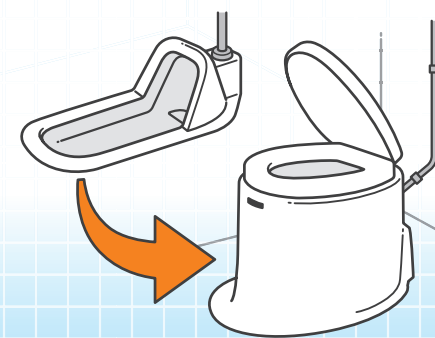


他にも利点・欠点はたくさんあるよ。
調べてみてね！

和式トイレでの排泄が困難である場合、洋式トイレへの変更を検討場合があります。しかし、それだけでは安全な環境は確保できません。以下では、**安全なトイレ動作に繋がる環境設定・福祉用具をお伝えします。**

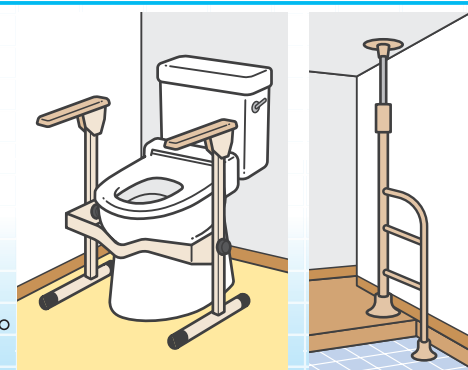
和式トイレを洋式にする便座

▶住宅改修が設計上困難な場合や即時に対応したい場合、置き型で洋式トイレ用の便座を設置することができます。水栓などは和式のままのため、衛生面に配慮する必要があります。



手すりに代わる福祉用具

▶設置するだけで便座の左右に肘置き・手すりとして使用できる物や床と天井を利用して、突っ張ることで、必要な場所に手すりを設置できる福祉用具があります。手すりが使えない場合などに活用できます。



自動開閉や洗浄機能

▶一般的な機能としても取り入れられる便座の自動開閉や洗浄機能があります。これらの機能は、トイレ使用者の動作を減らすことができるため、転倒リスクの軽減に繋がると考えられます。



引き戸への変更

▶開き戸では、狭いスペースでの方向転換や車椅子での進入が難しい場合があります。引き戸にすることで開口幅が広がるため、出入りがしやすくなります。

